

現金預金 第3問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 決算日に現金¥50,000を当座預金口座に入金していたが、銀行ではそれを翌日付で預金記入していた。
2. 仕入先秋田林業㈱に小切手¥80,000を振り出して買掛金を支払ったが、決算日以前に取立てが行われなかった。
3. 得意先山形食品㈱より受け取った小切手¥40,000を銀行に持ち込み、取り立てを依頼していたが、決算日において、まだ銀行が取り立てていなかった。
4. 買掛金を支払うために作成した小切手¥90,000が決算日現在、未渡しであることが判明した。なお、小切手作成時に当座預金を減少させる仕訳を行っている。
5. 得意先岩手乳業㈱から売掛金の支払いとして、当座預金口座に¥30,000が振り込まれていたが、決算日までに通知が届いていなかったのもので未記入であった。
6. 水道光熱費¥20,000が当座預金口座から引き落とされていたが、決算日までに通知が届いていなかったのもので未記入であった。
7. 広告宣伝費の支払いのために振り出していた小切手¥70,000が未渡しであることが判明した。なお、小切手作成時に当座預金を減少させる仕訳を行っている。
8. 備品¥350,000を購入した際に作成した同額の小切手が決算日現在、未渡しであることが判明した。なお、小切手作成時に当座預金を減少させる仕訳を行っている。
9. 現金の実際有高が帳簿残高より¥40,000不足していたので、現金過不足勘定で処理しておいたが、その後、原因を調査したところ、交通費の支払額¥32,000、通信費の支払額¥13,000および手数料の受取額¥10,000が記帳もれとなっていた。残りは原因不明につき、適切な勘定に振替えることとした。
10. 現金の実際有高が帳簿残高より¥10,000不足していたので、現金過不足勘定で処理しておいたが、その後、原因を調査したところ、水道光熱費の支払額¥18,000、租税公課の支払額¥12,000および手数料の受取額¥17,000が記帳もれとなっていた。残りは原因不明につき、適切な勘定に振替えることとした。

現金預金 第3問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕訳なし			
2	仕訳なし			
3	仕訳なし			
4	当座預金	90,000	買掛金	90,000
5	当座預金	30,000	売掛金	30,000
6	水道光熱費	20,000	当座預金	20,000
7	当座預金	70,000	未払金	70,000
8	当座預金	350,000	未払金	350,000
9	旅費交通費	32,000	受取手数料	10,000
	通信費	13,000	現金過不足	40,000
	雑損	5,000		
10	水道光熱費	18,000	受取手数料	17,000
	租税公課	12,000	現金過不足	10,000
			雑益	3,000